

大学番号 私立268

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

広島国際大学 保健医療学部 救急救命学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人常翔学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 課長・梶津 良仁

電話番号 0823-70-4503

（夜間）

e-mail HIU.Shomu@josho.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜救急救命学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

広島国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-2695

広島県東広島市黒瀬学園台555番地36

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)	(ニシムラ ヤスシ) 西村 泰志 (令和2年7月)	任期満了により交代 (令和2年7月) (3)
学長	(ヤケヒロ マスヒデ) 焼廣 益秀 (平成27年11月)		
学部長	(シミズ ジュイチロウ) 清水 壽一郎 (平成29年4月)		
学科長等	(ヤスダ ヤスハル) 安田 康晴 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 救急救命学科 学士 (救急救命学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	年 4	人 50	年次 人 -	人 200		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	50人 []	-人 []	50人 []	-人 []	1.14倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	198 []	- []	179 []	- []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	195 []	- []	174 []	- []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	75 []	- []	81 []	- []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	61 []	- []	53 []	- []			
入学定員超過率 B/A									1.22		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 [-] (-)	- [-] (-)	54 [-] (1)	[-] (-)	令和3年度 大学内他学部転出者4名（外数）
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	54 [-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 [-] (-)	-	108 [-] (1)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			令和3お年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	61 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	108 人	2 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2 人	0 人	心身耗弱(1人)、他の教育機関への入学(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{108} = \boxed{1.85} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要
 <保健医療学部 救急救命学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1									兼3	
	チュートリアル	1前	1			4	2	2					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1					1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1					1					
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				1						
	地域創生と危機管理	1前・後	1					2	1			兼4	
	デジタルコミュニケーション	1前	1									兼2	
	データサイエンスⅠ	1後	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1									兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1									兼5	
スポーツ学	1前・後	1									兼1		
スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1									兼8		
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	3	2	2	0	0	0	兼25	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	3	2	2	0	0	0	兼25
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼2	
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2									兼1
		文学	1・2・3前・後	2									兼1
		心理学	1・2・3前・後	2									兼1
		芸術学	1・2・3前・後	2									兼1
		文化人類学	1・2・3前・後	2									兼1
		小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
人間と社会	法学	1・2・3前・後	2									兼1	
	経済学	1・2・3前・後	2									兼1	
	歴史学	1・2・3前・後	2									兼1	
	政治学	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1									兼3	
	チュートリアル	1前	1					5	2	2			
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1							1			
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1							1			
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1								2		
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1								1		
	地域創生と危機管理	1前・後	1							2	1	兼11	
	デジタルコミュニケーション	1前	1									兼2	
	データサイエンスⅠ	1後	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1									兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1									兼5	
スポーツ学	1前・後	1									兼1		
スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1									兼9		
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	5	2	2	0	0	0	兼33	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	5	2	2	0	0	0	兼33
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼2	
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2									兼1
		文学	1・2・3前・後	2									兼1
		心理学	1・2・3前・後	2									兼1
		芸術学	1・2・3前・後	2									兼1
		文化人類学	1・2・3前・後	2									兼1
		小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
人間と社会	法学	1・2・3前・後	2									兼1	
	経済学	1・2・3前・後	2									兼1	
	歴史学	1・2・3前・後	2									兼1	
	政治学	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
オプション科目 (ベーシック)	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2							兼1	
		数学基礎	1・2・3前・後	1							兼1	
		数学	1・2・3前・後	2							兼1	
		物理学	1・2・3前・後	2							兼1	
		化学	1・2・3前・後	2							兼1	
		生物学	1・2・3前・後	2							兼1	
		科学実験a	1・2・3前・後	1							兼3	
		科学実験b	1・2・3前・後	1							兼4	
		小計 (8科目)	—	2	11	0	0	0	0	0	0	兼8
		総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2							兼1
		コミュニケーション論	1・2・3前・後	2							兼1	
	小計 (2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
オプション科目 (アドバンス)	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1							兼1	
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1							兼1	
		検定英語	2・3前・後	1							兼1	
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1							兼1	
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1							兼3	
		小計 (5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼7
	情報学	データサイエンスII	1・2・3前・後	1							兼2	
		データ解析	1・2・3前・後	1							兼2	
		プログラミングII	1・2・3前・後	1							兼2	
		小計 (3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	兼3
保健体育	スポーツ実習II	1・2・3前・後	1							兼8		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼8	
人間と文化	人間と文化a	1・2・3前・後	1							兼1		
	人間と文化b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後	1							兼1		
	人間と社会b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後	1							兼1		
	人間と自然b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1							兼8		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼8	
オプション科目	留学生特例科目	留学生特例科目										
	人間と社会	日本事情 a	1・2・3前・後	2							兼1	
		日本事情 b	1・2・3前・後	2							兼1	
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
	グローバル	日本語I	1・2・3前・後	2							兼1	
		日本語II	1・2・3前・後	2							兼1	
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
	オプション科目 合計 (44科目)	—	—	6	58	0	0	0	0	0	0	兼34

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
オプション科目 (ベーシック)	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2							兼1	
		数学基礎	1・2・3前・後	1							兼1	
		数学	1・2・3前・後	2							兼1	
		物理学	1・2・3前・後	2							兼1	
		化学	1・2・3前・後	2							兼1	
		生物学	1・2・3前・後	2							兼1	
		科学実験a	1・2・3前・後	1							兼3	
		科学実験b	1・2・3前・後	1							兼4	
		小計 (8科目)	—	2	11	0	0	0	0	0	0	兼8
		総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2							兼1
		コミュニケーション論	1・2・3前・後	2							兼1	
	小計 (2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
オプション科目 (アドバンス)	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1							兼1	
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1							兼1	
		検定英語	2・3前・後	1							兼1	
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1							兼1	
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1							兼3	
		小計 (5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼7
	情報学	データサイエンスII	1・2・3前・後	1							兼2	
		データ解析	1・2・3前・後	1							兼2	
		プログラミングII	1・2・3前・後	1							兼2	
		小計 (3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	兼2
保健体育	スポーツ実習II	1・2・3前・後	1							兼8		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼8	
人間と文化	人間と文化a	1・2・3前・後	1							兼1		
	人間と文化b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後	1							兼1		
	人間と社会b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後	1							兼1		
	人間と自然b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1							兼8		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼8	
オプション科目	留学生特例科目	留学生特例科目										
	人間と社会	日本事情 a	1・2・3前・後	2							兼1	
		日本事情 b	1・2・3前・後	2							兼1	
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
	グローバル	日本語I	1・2・3前・後	2							兼1	
		日本語II	1・2・3前・後	2							兼1	
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
	オプション科目 合計 (44科目)	—	—	6	58	0	0	0	0	0	0	兼33

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	科学的思考の基礎 自然災害防災論 救急実務英語 ライフサイエンス論Ⅰ ライフサイエンス論Ⅱ 救急統計学 小計(5科目)	2前・後	2			1	1					
		2前・後	1								兼1	
		1前・後	1								兼1	
		1前・後	1								兼1	
		3前・後	2			1						
人間生活と人	ビジネスマナー論	1・2・3前・後	1			3	2	2				
	小計(1科目)	—	1	0	0	3	2	2	0	0	0	
専門基礎分野	人体構造生理学Ⅰ 人体構造生理学Ⅱ 人体構造生理学実習 小計(3科目)	1前・後	2								兼1	
		1前・後	2								兼1	
		1前・後	1			1					兼1	
	の疾患の成り立ちと回復	病理学	2前・後	1			1					
		生化学	1前・後	1								兼1
		薬理学	3前・後	1			1					
		救急検査概論	3前・後	1			1					兼4
	公衆衛生と社	公衆衛生学	1・2前・後	2			1					
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	救急医学概論	生命倫理	1前・後	2			1	1				
病院前救急医療概論		1前・後	1			2						
救急災害システム論		2前・後	2			1						
救急関係法規		2前・後	1			1						
救急救命処置概論		1前・後	2			1						
災害・救護ボランティア演習		2前・後	1			1						
小計(6科目)		—	9	0	0	2	2	2	0	0	0	
救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	2前・後	2			1						
	救急症候・病態生理学Ⅱ	2前・後	2			1						
	臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			1						
	臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			1						
小計(4科目)	—	8	0	0	1	0	0	0	0	0		
疾病救急医学	救急現場活動学	2前・後	2			1						
	特定行為処置論	3前・後	2			1						
	小児科学	2前・後	2								兼1	
	産婦人科学	2前・後	1								兼1	
	精神医学	3前・後	1								兼1	
小計(5科目)	—	8	0	0	2	0	0	0	0	兼3		
外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	2前・後	2			1						
	外傷救急医学Ⅱ	2前・後	2			1						
	小計(2科目)	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0	
中等環毒・急性	環境障害・急性中毒学	3前・後	1			1						
	小計(1科目)	—	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
臨床実習	救急救命処置実習Ⅰ	1前・後	2			1	1				兼5	
	救急救命処置実習Ⅱ	1前・後	2			1	1	1			兼5	
	救急救命処置実習Ⅲ	2前・後	3			1	1				兼5	
	救急救命処置実習Ⅳ	2前・後	3			2					兼5	
	救急救命高度実習Ⅰ	3前・後	2			2	2	1			兼2	
	救急救命高度実習Ⅱ	3前・後	2			2	1				兼2	
	救急救命総合実習	4前・後	2			1	1				兼2	
	応急手当実習Ⅰ	2前・後	1			1						
	応急手当実習Ⅱ	2前・後	1			1						
	救急システム実習Ⅰ	1前・後	1			1						
	救急システム実習Ⅱ	1前・後	1			1						
	救急システム実習Ⅲ	3前・後	1			3	2	2				
	救急システム実習Ⅳ	3前・後	6			4	2	2				
	国内救急救命事情	2前・後	1			1	1	1				
	国際救急救命学	2前・後	1			1	1	1				
小計(15科目)	—	25	4	0	4	2	2	0	0	兼5		
卒業研究	卒業研究Ⅰ	3前・後	2			4	2	2				
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2			4	2	2				
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	2	2	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	科学的思考の基礎 自然災害防災論 救急実務英語 ライフサイエンス論Ⅰ ライフサイエンス論Ⅱ 救急統計学 小計(5科目)	2前・後	2			1	1					
		2前・後	1								兼1	
		1前・後	1								兼1	
		1前・後	1								兼1	
		3前・後	2			1						
人間生活と人	ビジネスマナー論	1・2・3前・後	1			3	2	2				
	小計(1科目)	—	1	0	0	3	2	2	0	0	0	
専門基礎分野	人体構造生理学Ⅰ 人体構造生理学Ⅱ 人体構造生理学実習 小計(3科目)	1前・後	2						1		兼1	
		1前・後	2						1		兼1	
		1前・後	1			1					兼2	
	の疾患の成り立ちと回復	病理学	2前・後	1			1					
		生化学	1前・後	1								兼1
		薬理学	3前・後	1			1					
		救急検査概論	3前・後	1			1					兼4
	公衆衛生と社	公衆衛生学	1・2前・後	2			1					
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	救急医学概論	生命倫理	1前・後	2			1	1				
病院前救急医療概論		1前・後	1			2						
救急災害システム論		2前・後	2			1						
救急関係法規		2前・後	1			1						
救急救命処置概論		1前・後	2			1						
災害・救護ボランティア演習		2前・後	1			1						
小計(6科目)		—	9	0	0	2	2	2	0	0	0	
救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学Ⅰ	2前・後	2			1						
	救急症候・病態生理学Ⅱ	2前・後	2			1						
	臨床病態学Ⅰ	2前・後	2			1						
	臨床病態学Ⅱ	2前・後	2			1						
小計(4科目)	—	8	0	0	1	0	0	0	0	0		
疾病救急医学	救急現場活動学	2前・後	2			1						
	特定行為処置論	3前・後	2			1						
	小児科学	2前・後	2								兼1	
	産婦人科学	2前・後	1								兼1	
	精神医学	3前・後	1								兼1	
小計(5科目)	—	8	0	0	3	0	0	0	0	兼2		
外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	2前・後	2			1						
	外傷救急医学Ⅱ	2前・後	2			1						
	小計(2科目)	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0	
中等環毒・急性	環境障害・急性中毒学	3前・後	1			1						
	小計(1科目)	—	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
臨床実習	救急救命処置実習Ⅰ	1前・後	2			1	1				兼8	
	救急救命処置実習Ⅱ	1前・後	2			1	1	1			兼8	
	救急救命処置実習Ⅲ	2前・後	3			1	1				兼8	
	救急救命処置実習Ⅳ	2前・後	3			1	1	1			兼8	
	救急救命高度実習Ⅰ	3前・後	2			2	2	1			兼2	
	救急救命高度実習Ⅱ	3前・後	2			2	1				兼2	
	救急救命総合実習	4前・後	2			1	1	1			兼2	
	応急手当実習Ⅰ	2前・後	1			1						
	応急手当実習Ⅱ	2前・後	1			1						
	救急システム実習Ⅰ	1前・後	1			1						
	救急システム実習Ⅱ	1前・後	1			1						
	救急システム実習Ⅲ	3前・後	1			3	2	2				
	救急システム実習Ⅳ	3前・後	6			4	2	2				
	国内救急救命事情	2前・後	1			1	1	1				
	国際救急救命学	2前・後	1			1	1	1			兼1	
小計(15科目)	—	25	4	0	4	2	2	0	0	兼10		
卒業研究	卒業研究Ⅰ	3前・後	2			4	2	2				
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2			4	2	2				
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	2	2	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門総合分野	総合技術 救急救命学Ⅰ 救急救命学Ⅱ 救急救命学Ⅲ 救急救命学Ⅳ 救急救命総合学 教養総合学Ⅰ 教養総合学Ⅱ 教養総合学Ⅲ 教養総合学Ⅳ 教養総合学Ⅴ	3前・後	2			2	1	2				
		3前・後	2			2	1	2				
		4前・後	2			2	2	2				
		4前・後	2			2	2	2				
		4前・後	2			3	2	2				
		2前・後	2			1						
		2前・後	2			1						
		3前・後	2			1						
		3前・後	2			1						
		4前・後	2			1						
小計(10科目)		—	14	6	0	4	2	2	0	0	0	
専門教育科目 合計(59科目)			—	90	12	0	4	2	2	0	0	兼15
救急救命学科 合計(118科目)			—	111	70	0	4	2	2	0	0	兼57

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門総合分野	総合技術 救急救命学Ⅰ 救急救命学Ⅱ 救急救命学Ⅲ 救急救命学Ⅳ 救急救命総合学 教養総合学Ⅰ 教養総合学Ⅱ 教養総合学Ⅲ 教養総合学Ⅳ 教養総合学Ⅴ	3前・後	2			2	1	2				
		3前・後	2			2	1	2				
		4前・後	2			2	2	2				
		4前・後	2			2	2	2				
		4前・後	2			3	2	2				
		2前・後	2			1						
		2前・後	2			1						
		3前・後	2			1						
		3前・後	2			1						
		4前・後	2			1						
小計(10科目)		—	14	6	0	4	2	2	0	0	0	
専門教育科目 合計(59科目)			—	90	12	0	4	2	2	0	0	兼19
救急救命学科 合計(118科目)			—	90	12	0	4	2	2	0	0	兼65

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。

- 【履修方法】
- スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位
 - オプション科目
必修科目：6単位
選択科目：4単位

(小計) 10単位以上
 - 専門教育科目
必修科目：90単位
選択必修科目：1単位

(小計) 91単位
(『臨地実習』の「国内救急救命事情」または、「国際救急救命学」の2科目のうちいずれか1科目1単位)
 - その他
選択科目：8単位

(小計) 8単位以上
(所属学科の専門教育科目、オプション科目、他学科の専門教育科目含む)
 - (合計) 124単位以上

【卒業要件】
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。

【履修単位の上限】
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。

- 【履修方法】
- スタンダード科目
必修科目：15単位

(小計) 15単位
 - オプション科目
必修科目：6単位
選択科目：4単位

(小計) 10単位以上
 - 専門教育科目
必修科目：90単位
選択必修科目：1単位

(小計) 91単位
(『臨地実習』の「国内救急救命事情」または、「国際救急救命学」の2科目のうちいずれか1科目1単位)
 - その他
選択科目：8単位

(小計) 8単位以上
(所属学科の専門教育科目、オプション科目、他学科の専門教育科目含む)
 - (合計) 124単位以上

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1									兼3	
	チュートリアル	1前	1			5	2	2					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1					1					
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1					1					
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1				1						
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1				1						
	地域創生と危機管理	1前・後	1				2	1				兼11	
	デジタルコミュニケーション	1前	1									兼2	
	データサイエンスⅠ	1後	1									兼2	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1									兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1									兼5	
	スポーツ学	1前・後	1									兼1	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1									兼11	
小計 (15科目)	—	15	0	0	5	2	2	0	0	0	0	兼35	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	5	2	2	0	0	0	兼35
オープン科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1								兼1	
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1								兼2	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼2
		人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2								兼1
			文学	1・2・3前・後	2								兼1
			心理学	1・2・3前・後	2								兼1
	芸術学		1・2・3前・後	2								兼1	
	文化人類学		1・2・3前・後	2								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
	人間と社会	法学	1・2・3前・後	2								兼1	
		経済学	1・2・3前・後	2								兼1	
歴史学		1・2・3前・後	2								兼1		
政治学		1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (4科目)		—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
オープン科目	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2								兼1	
		数学基礎	1・2・3前・後	1								兼1	
		数学	1・2・3前・後	2								兼1	
		物理学	1・2・3前・後	2								兼1	
		化学	1・2・3前・後	2								兼1	
		生物学	1・2・3前・後	2								兼1	
		科学実験a	1・2・3前・後	1								兼3	
		科学実験b	1・2・3前・後	1								兼4	
		小計 (8科目)	—	2	11	0	0	0	0	0	0	0	兼8
	総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2								兼1	
		コミュニケーション論	1・2・3前・後	2								兼1	
		小計 (2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	オープン科目	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1								兼1
			英語プレゼンテーション	2・3前・後	1								兼1
			検定英語	2・3前・後	1								兼1
グローバル化と人間a			1・2・3前・後	1								兼1	
グローバル化と人間b			1・2・3前・後	1								兼3	
小計 (5科目)		—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
情報学		データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1								兼2	
		データ解析	1・2・3前・後	1								兼2	
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1								兼2	
小計 (3科目)		—	0	3	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
保健体育		スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1								兼8	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼8
人間と文化		人間と文化a	1・2・3前・後	1								兼1	
		人間と文化b	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人間と社会	人間と社会a	1・2・3前・後	1								兼1		
	人間と社会b	1・2・3前・後	1								兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と自然	人間と自然a	1・2・3前・後	1								兼1		
	人間と自然b	1・2・3前・後	1								兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1								兼8		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
オープン科目	留学生特例科目											
	人間と社会	日本事情 a	1・2・3前・後	2								兼1
		日本事情 b	1・2・3前・後	2								兼1
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
	グローバル	日本語 I	1・2・3前・後	2								兼1
		日本語 II	1・2・3前・後	2								兼1
小計 (2科目)		—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1	
オープン科目 合計 (44科目)			—	6	58	0	0	0	0	0	0	兼34

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	科学的思考の基礎	自然災害防災論	2前・後	2				1	1			
		救急実務英語	2前・後	1								兼1
		ライフサイエンス論 I	1前・後	1								兼1
		ライフサイエンス論 II	1前・後	1								兼1
		救急統計学	3前・後	2			1					
	小計 (5科目)	—	5	2	0	1	1	1	0	0	兼2	
人間生活と人	ビジネスマナー論	1・2・3前・後	1			3	2	2				
	小計 (1科目)	—	1	0	0	3	2	2	0	0	0	
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造生理学 I	1前・後	2			1					兼1
		人体構造生理学 II	1前・後	2			1					兼1
		人体構造生理学実習	1前・後	1			1					兼2
		小計 (3科目)	—	5	0	0	1	0	0	0	0	兼2
	の経過の成り立ちと回復	病理学	2前・後	1			1					
		生化学	1前・後	1								兼1
薬理学		3前・後	1			1						
救急検査概論		3前・後	1			1					兼4	
小計 (4科目)	—	4	0	0	2	0	0	0	0	兼4		
公衆衛生と社会	公衆衛生学	1・2前・後	2				1					
	小計 (1科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0	0	
専門分野	救急医学概論	生命倫理	1前・後	2			1	1				
		病院前救急医療概論	1前・後	1			2					
		救急災害システム論	2前・後	2				1				
		救急関係法規	2前・後	1				1				
		救急救命処置概論	1前・後	2				1				
		災害・救護ボランティア演習	2前・後	1					1			
	小計 (6科目)	—	9	0	0	2	2	2	0	0	0	
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学 I	2前・後	2			1					
		救急症候・病態生理学 II	2前・後	2			1					
		臨床病態学 I	2前・後	2			1					
		臨床病態学 II	2前・後	2			1					
	小計 (4科目)	—	8	0	0	1	0	0	0	0	0	
	医療救急医学	救急現場活動学	2前・後	2			1					
		特定行為処置論	3前・後	2			1					
		小児科学	2前・後	2								兼1
産婦人科学		2前・後	1								兼1	
精神医学		3前・後	1								兼1	
小計 (5科目)	—	8	0	0	2	0	0	0	0	兼3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	外傷救急医学	外傷救急医学Ⅰ	2前・後	2			1					
		外傷救急医学Ⅱ	2前・後	2			1					
		小計(2科目)	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0
	中毒・環境・救急医学	環境障害・急性中毒学	3前・後	1			1					
		小計(1科目)	—	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	臨床実習	救急救命処置実習Ⅰ	1前・後	2			1	1				兼8
		救急救命処置実習Ⅱ	1前・後	2			1	1	1			兼8
		救急救命処置実習Ⅲ	2前・後	3			1	1				兼5
		救急救命処置実習Ⅳ	2前・後	3			2					兼5
		救急救命高度実習Ⅰ	3前・後	2			2	2	1			兼2
		救急救命高度実習Ⅱ	3前・後	2			2	1				兼2
		救急救命総合実習	4前・後	2			1	1				兼2
		応急手当実習Ⅰ	2前・後	1			1		1			
		応急手当実習Ⅱ	2前・後	1			1		1			
		救急システム実習Ⅰ	1前・後	1			1		1			
		救急システム実習Ⅱ	1前・後	1			1	1				
		救急システム実習Ⅲ	3前・後	1			3	2	2			
		救急システム実習Ⅳ	3前・後	6			4	2	2			
		国内救急救命事情	2前・後	1			1		1			
	国際救急救命学	2前・後	1			1		1				
	小計(15科目)	—	25	4	0	4	2	2	0	0	兼8	
卒業研究	卒業研究Ⅰ	3前・後	2			4	2	2				
	卒業研究Ⅱ	4前・後	2			4	2	2				
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	2	2	0	0	0	
専門総合分野	総合技術	救急救命学Ⅰ	3前・後	2			2	1	2			
		救急救命学Ⅱ	3前・後	2			2	1	2			
		救急救命学Ⅲ	4前・後	2			2	2	2			
		救急救命学Ⅳ	4前・後	2			2	2	2			
		救急救命総合学	4前・後	2			3	2	2			
		教養総合学Ⅰ	2前・後	2			1					
		教養総合学Ⅱ	2前・後	2			1					
		教養総合学Ⅲ	3前・後	2			1					
		教養総合学Ⅳ	3前・後	2			1					
		教養総合学Ⅴ	4前・後	2			1					
	小計(10科目)	—	14	6	0	4	2	2	0	0	0	
専門教育科目 合計(59科目)			—	90	12	0	6	2	2	0	0	兼19
救急救命学科 合計(118科目)			—	111	70	0	6	2	2	0	0	兼68
卒業要件及び履修方法												
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。												
【履修単位の上限】 1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。												
【履修方法】 ○スタンダード科目 必修科目：15単位 ----- (小計) 15単位 ○オプション科目 必修科目：6単位 選択科目：4単位 ----- (小計) 10単位以上 ○専門教育科目 必修科目：90単位 選択必修科目：1単位 ----- (小計) 91単位 (「臨床実習」の「国内救急救命事情」または、「国際救急救命学」の2科目のうちいずれか1科目1単位) ○その他 選択科目：8単位 ----- (小計) 8単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、他学科の専門教育科目含む) (合計) 124単位以上												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育内容の充実を図るため「チュートリアル」の担当教員を「教授4・准教授2・講師2」から「教授5・准教授2・講師2」に変更。
(青山 裕彦専任教授追加)
- ・教育内容の充実を図るため「地域創生と危機管理」の担当教員を「兼4」から「兼11」に変更。
(岡田 大爾兼担教授、寺重 隆視兼担教授、久次 弘子兼任教授、吉川 眞兼任教授、梅 林兼担教授、井山 慶信兼担講師、大藤 弘典兼担講師 追加)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅰ」の担当教員を「兼8」から「兼11」に変更。
(岡本 昌規兼担講師、帆足 哲哉兼任講師、藤本 隆弘兼任講師を追加)
- ・令和5年就任予定教員が着任されるまで「人体構造生理学Ⅰ」「人体構造生理学Ⅱ」を「兼1」から「教授1、兼1」に変更
(青山 裕彦専任教授追加)
- ・令和5年度就任予定教員が着任されるまで「人体構造生理学実習」の担当教員を「教授0」から「教授1」を追加、教育内容の充実を図るため「兼1」から「兼2」に変更。
(青山 裕彦専任教授、隅田 寛兼担教授を追加)
- ・誤記により、「救急救命処置実習Ⅰ」「救急救命処置実習Ⅱ」を「兼5」から「兼6」に訂正、さらに教育内容の充実を図るため、
江戸修一兼任講師、片山広司兼任講師を追加。
- ・教育内容の充実を図るため「救急システム実習Ⅱ」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1、講師1」に変更。
(吉川 孝次専任准教授追加)
- ・誤記により、科目区分「疾患の成り立ちと回復の課程」の小計を「1」から「2」へ変更

【令和3年度】

- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅰ」の担当教員を「准教授1」から「准教授2」に変更。(佐々木 広一専任准教授を追加)
- ・担当科目の見直しにより「スポーツ実習Ⅰ」の担当教員を「兼11」から「兼9」に変更(岡本 昌規兼担講師、帆足 哲哉兼任講師を削除)
- ・担当科目の見直しにより「生物学」の担当教員を変更(高井 節夫兼任講師を削除、太田 茂兼任講師を追加)
- ・担当科目の見直しにより「データ解析」の担当教員を変更(島田 文彦兼担講師を削除、宮崎 龍二兼担教授を追加)
- ・担当科目の見直しにより「小児科学」の担当教員を「兼1」から「教授1」に変更(江原 朗兼担教授を削除、津村 龍専任教授を追加)
- ・担当科目の見直しにより「救急救命処置実習Ⅳ」の専任教員を「教授2」から「教授1」に変更(竹井 豊専任教授を削除)
- ・担当科目の見直しにより「救急救命処置実習Ⅳ」の専任教員を「講師0」から「講師1」に変更(坂口 英児専任講師を追加)
- ・誤記により、「救急救命処置実習Ⅲ」「救急救命処置実習Ⅳ」を「兼5」から「兼6」に訂正、さらに教育内容の充実を図るため、
(鉦谷 邦昭兼任講師を削除、片山 広司兼任講師、水田 道登兼任講師、寶澤 博兼任講師を追加)
- ・担当科目の見直しにより「救急システム実習Ⅱ」の専任教員を「講師1」から「准教授1」に変更(坂口 英児専任講師を削除)
- ・教育内容の充実を図るため「国際救急救命学」の担当教員を「兼0」から「兼1」に変更(藤原 翔兼任講師を追加)

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

必修	設置時の計画		変更状況				備考
	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	
70 科目	48 科目	0 科目	118 科目	70 科目 [0]	48 科目 [0]	0 科目 [0]	118 科目 [0]

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{118} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積： 1,460.88㎡ 1,896.32㎡ 189,896.36㎡ 2,384.69㎡ 借用期間：30年 (平成20年以後継続) 運動場用地売却のため(2)			
	校舎敷地	213,334.58㎡	0㎡	0㎡	213,334.58㎡				
	運動場用地	185,687.51㎡ 189,896.36㎡	0㎡	0㎡	185,687.51㎡ 189,896.36㎡				
	小 計	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡ 403,230.94㎡				
	そ の 他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡				
	合 計	405,537.98㎡ 409,746.83㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡ 409,746.83㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	登記上面積の誤差のため(2)				
	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ 116,024.62㎡ (117,137.07㎡)	0㎡	0㎡	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ 116,024.62㎡ (117,137.07㎡)					
(3) 教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス集約に伴う変更。設置学部では使用しない部屋であり、教育・研究に支障はない。(2)			
	86室 94室	419室 453室	262室 277室	8室 11室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		保健医療学部 救急救命学科 8 室			
	保健医療学部 救急救命学科								
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 ・図書 199,403冊 447,132冊 446-684冊 (30,114冊) (30,119冊) (30,148冊) 共用分(関係洋図書雑誌)による減。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 洋図書の減は、洪水被害を被った洋図書の廃棄による。このことに伴う教育・研究への支障はない。(3) ・学術雑誌 1,121種 4,449冊 24,266冊 (471種) (472種) (29,925冊) 再教一種数に変更 (2) 洋雑誌減：種数は正の為 (3) ・電子ジャーナル 11種 (10種) 学術学術雑誌、電子ジャーナルの減少は購読を取りやめた為。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 教育研究環境充実の為 (2) 教育研究環境充実の為 (3)	
	保健医療学部 救急救命学科	1,197 [154] 1,151 [154] 1,091 [154]	3 [2] 4 [0]	0 [0] 2 [2]	54 [4] 53 [4] 52	9,359 9,254 9,209	146 144		
	計	(1,197 [154]) (1,151 [154]) (1,091 [154])	(3 [2]) (4 [0])	(0 [0]) (2 [2])	(54 [4]) (53 [4]) (4)	9,359 9,254 (9,203)	146 (144)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	座席数減少は設備故障等による閲覧室閉鎖、書架増設の為 (2)					
	3,621.31㎡	507 635	253,643 244,195	収納可能冊数の増加は書架増設の為 (2)					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,201.73㎡ 5,550.52㎡	第2練習場、第3練習場、第4練習場、テニスコート 4面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	【図書購入費】 電子ジャーナル、及び図書館予算減少の為。このことに伴う教育・研究への支障はない。(2) 開設年度の増加は、教育研究環境充実の為 (3)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	190千円 283千円	283千円	図書購入費	738千円 783千円	549千円 449千円 794千円	817千円	
		共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	37,611千円 25,491千円	3,439千円 10,939千円	- 千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	【設備購入費】 開設年度の減額は、開設前年度に購入した為 (3)	
		1,770千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、補助活動収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	広島国際大学						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	220	-	840	-	1.09	1.18	-	平成10	-	
診療放射線学科	4	70	-	280	学士 (診療放射線学)	1.19	1.45	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療技術学科	4	100	-	460	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	1.01	1.06	令和2	平成25	同上	令和2年度定員変更 130→100 (△30)
臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	50	-	100	学士 (救急救命学)	1.14	1.06	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
救急救命学科	4	50	-	100	学士 (救急救命学)	1.14	1.06	令和2	令和2	同上	令和2年度学科設置
総合リハビリテーション学部	4	180	-	680	-	1.08	1.16	-	平成25		
リハビリテーション学科	4	180	-	620	学士 (理学療法学) (作業療法学)	1.12	1.16	令和2	平成25	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度定員変更 130→180 (50)
理学療法学専攻 作業療法学専攻	4	-	-	60	学士 (言語聴覚療法学) (義肢装具学)	-	-	-	平成25	同上	令和2年度 学生募集停止
言語聴覚療法学専攻 義肢装具学専攻	4	-	-	60	学士 (義肢装具学)	-	-	-	平成25	同上	令和2年度 学生募集停止
リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	-	-	60	学士 (義肢装具学)	-	-	-	平成25	同上	令和2年度 学生募集停止
医療福祉学部	4	-	3年次 10	220	-	-	-	-	平成10	-	
医療福祉学科	4	-	3年次 10	220	学士 (医療福祉学)	-	-	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	-	-	220	学士 (医療福祉学)	-	-	-	平成10	同上	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
医療経営学部	4	-	-	180	-	-	-	-	平成23	-	
医療経営学科	4	-	-	180	学士 (医療経営学)	-	-	-	平成23	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度 学生募集停止
心理科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成13	-	
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	-	平成13	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	平成27年度学生募集停止 平成29年度3年次編入学募集停止
心理学部	4	-	3年次 10	200	-	-	-	-	平成27	-	
心理学科	4	-	3年次 10	200	学士 (心理学)	-	-	-	平成27	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学募集停止
看護学部	4	120	3年次 10	500	-	1.03	1.04	-	平成15	-	
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.03	1.04	-	平成15	広島県呉市広島新開 五丁目1番1号	
薬学部	6	120	-	720	-	0.86	0.84	-	平成18	-	
薬学科(6年制)	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.86	0.84	-	平成18	広島県呉市広島新開 五丁目1番1号	
医療栄養学部	4	-	-	120	-	-	-	-	平成26	-	
医療栄養学科	4	-	-	120	学士 (医療栄養学)	-	-	-	平成26	広島県呉市広島新開 五丁目1番1号	令和2年度 学生募集停止
健康科学部	4	350	-	700	-	0.81	0.86	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
医療福祉学科	4	100	-	200	学士 (医療福祉学)	0.56	0.63	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4	100	-	200	学士 (医療福祉学)	0.56	0.63	令和2	令和2	同上	
医療経営学科	4	90	-	180	学士 (医療経営学)	0.97	1.12	令和2	令和2	同上	
心理学科	4	100	-	200	学士 (心理学)	0.85	0.87	令和2	令和2	同上	
医療栄養学科	4	60	-	120	学士 (医療栄養学)	0.94	0.88	令和2	令和2	広島県呉市広島新開 五丁目1番1号	

健康スポーツ学部	4	70	-	140	-	1.11	1.15	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
健康スポーツ学科	4	70	-	140	学士 (健康スポーツ学)	1.11	1.15	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
大学全体	-	1,060	3年次 30	4,300	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	広島国際大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
-------	-----------	--	--	--	--	--	-----------	---	---------------------	---	----

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	
看護学研究科 博士前期課程	2	10	-	20	-	0.10	0.20	-	平成15	-
看護学専攻	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.10	0.20	-	平成15	広島県東広島市 五丁目1番1号
看護学研究科 博士後期課程	3	3	-	9	-	0.00	0.00	-	平成24	-
看護学専攻	3	3	-	9	博士 (看護学)	0.00	0.00	-	平成24	広島県東広島市 五丁目1番1号
医療・福祉科学研究科 博士前期課程	2	10	-	20	-	1.05	0.80	-	平成21	-
医療工学専攻	2	10	-	20	修士 (医療工学)	1.05	0.80	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
医療・福祉科学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.83	2.00	-	平成21	-
医療工学専攻	3	2	-	6	博士 (医療工学)	0.83	2.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
医療・福祉科学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	0.25	0.20	-	平成21	-
医療福祉学専攻	2	5	-	10	修士 (医療福祉学)	0.10	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
医療経営学専攻	2	5	-	10	修士 (医療経営学)	0.40	0.40	-	平成21	同上
心理科学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.00	0.00	-	平成21	-
臨床心理学専攻	3	2	-	6	博士 (臨床心理学)	0.00	0.00	-	平成21	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36
心理科学研究科 専門職学位課程	2	20	-	40	-	0.50	0.40	-	平成21	-
実践臨床心理学専攻	2	20	-	40	臨床心理修士 (専門職)	0.50	0.40	-	平成21	広島県東広島市 五丁目1番1号
薬学研究科 博士課程	4	2	-	8	-	0.37	0.00	-	平成24	-
医療薬学専攻	4	2	-	8	博士 (薬学)	0.37	0.00	-	平成24	広島県東広島市 五丁目1番1号
大学院全体	-	59	-	129	-	-	-	-	-	-

大学の名称	大阪工業大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
-------	--------	--	--	--	--	--	-----------	---	---------------------	---	----

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	
工学部	4	900	3年次 40	3,680	-	1.02	1.11	-	昭和24	-
都市デザイン工学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.10	1.35	-	昭和24	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号
空間デザイン学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成18	同上
建築学科	4	150	3年次 5	610	学士 (工学)	1.06	1.28	-	昭和24	同上
機械工学科	4	140	3年次 5	570	学士 (工学)	1.00	1.09	-	昭和25	同上
ロボット工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成22	同上
電気電子システム工学科	4	125	3年次 5	510	学士 (工学)	1.01	1.04	-	昭和24	同上
電子情報システム工学科	4	110	3年次 5	450	学士 (工学)	1.04	1.06	-	昭和34	同上
応用化学科	4	130	3年次 5	530	学士 (工学)	0.98	1.00	-	昭和33	同上

環境工学科	4	75	3年次 5	310	学士 (工学)	1.01	0.96	-	平成18	同上	
生命工学科	4	70	3年次 5	290	学士 (工学)	0.98	0.98	-	平成22	同上	
ロボティクス&デザイン工学部	4	280	3年次 15	1,150	-	1.08	1.19	-	平成29	-	
ロボット工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.07	1.25	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
システムデザイン工学科	4	90	3年次 5	370	学士 (工学)	1.10	1.14	-	平成29	同上	
空間デザイン学科	4	100	3年次 5	410	学士 (工学)	1.06	1.18	-	平成29	同上	
情報科学部	4	460	3年次 20	1,760	-	1.04	1.16	-	平成8	-	
データサイエンス学科	4	70	-	70	学士 (情報学)	1.02	1.02	令和3	令和3	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	令和3年度学科設置
情報知能学科	4	90	3年次 5	415	学士 (情報学)	1.02	1.18	-	平成8	同上	令和3年度定員変更 105→90 (△15)
情報システム学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	1.01	1.07	-	平成8	同上	
情報メディア学科	4	105	3年次 5	430	学士 (情報学)	1.07	1.28	-	平成14	同上	
ネットワークデザイン学科	4	90	3年次 5	415	学士 (情報学)	1.07	1.20	-	平成19	同上	令和3年度定員変更 105→90 (△15)
知的財産学部	4	140	3年次 10	580	-	1.08	1.19	-	平成15	-	
知的財産学科	4	140	3年次 10	580	学士 (知的財産学)	1.08	1.19	-	平成15	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
大学全体	-	1,780	3年次 85	7,170	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	大阪工業大学大学院					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
-------	-----------	--	--	--	--	-----------	---	---------------------	---	----

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
工学研究科 博士前期課程	2	110	-	220	-	1.17	1.30	-	昭和40	-	
建築・都市デザイン工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	0.91	1.00	-	平成29	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
電気電子・機械工学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	1.28	1.40	-	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	1.46	-	平成29	同上	
工学研究科 博士後期課程	3	6	-	18	-	0.60	0.16	-	昭和42	-	
都市デザイン工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	昭和42	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	平成29年度 学生募集停止
生体医学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成19	同上	平成29年度 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	昭和42	同上	平成29年度 学生募集停止
建築・都市デザイン工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成29	同上	
電気電子・機械工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.83	0.00	-	平成29	同上	
化学・環境・生命工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.66	0.50	-	平成29	同上	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程	2	30	-	60	-	1.33	1.53	-	平成29	-	
ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.33	1.53	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程	3	2	-	6	-	0.50	1.00	-	平成29	-	
ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.50	1.00	-	平成29	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
情報科学研究科 博士前期課程	2	40	-	80	-	1.21	1.20	-	平成12	-	
情報科学専攻	2	40	-	80	修士 (情報学)	1.21	1.20	-	平成12	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
情報科学研究科 博士後期課程	3	5	-	15	-	0.00	0.00	-	平成14	-	
情報科学専攻	3	5	-	15	博士 (情報学)	0.00	0.00	-	平成14	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
知的財産研究科 専門職学位課程	2	30	-	60	-	1.18	1.20	-	平成17	-	

知的財産専攻	2	30	-	60	知的財産修士 (専門職)	1.18	1.20	-	平成17	大阪府大阪市旭区 大宮五丁目16番1号	
大学院全体	-	223	-	459	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	摂南大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
理工学部	4	585	3年次 30 3年次 5	2,145	-	1.01	0.96	-	昭和50	-	
生命科学科	4	105	3年次 5	385	学士 (理学)	0.94	0.68	令和3	平成22	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和3年度定員変更 90→105 (15)
住環境デザイン学科	4	85	3年次 5	305	学士 (工学)	1.00	1.04	令和3	平成22	同上	令和3年度定員変更 70→85 (15)
建築学科	4	80	3年次 5	300	学士 (工学)	1.05	1.03	令和3	昭和50	同上	令和3年度定員変更 70→80 (10)
機械工学科	4	130	3年次 5	470	学士 (工学)	1.02	1.00	令和3	昭和50	同上	令和3年度定員変更 110→130 (20)
電気電子工学科	4	105	3年次 5	385	学士 (工学)	1.07	1.10	令和3	昭和50	同上	令和3年度定員変更 90→105 (15)
都市環境工学科	4	80	3年次 5	300	学士 (工学)	0.97	0.93	令和3	平成22	同上	令和3年度定員変更 70→80 (10)
外国語学部	4	220	3年次 5	890	-	1.00	0.87	-	昭和57	-	
外国語学科	4	220	3年次 5	890	学士 (文学)	1.00	0.87	-	昭和57	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
経営学部	4	270	3年次 8	1,096	-	1.04	1.00	-	昭和57	-	
経営学科	4	170	3年次 4	688	学士 (経営学)	1.05	1.02	-	平成18	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
経営情報学科	4	100	3年次 4	408	学士 (経営学)	1.03	0.96	-	昭和57	同上	
薬学部	6	220	-	1,320	-	1.02	0.96	-	平成18	-	
薬学科(6年制)	6	220	-	1,320	学士 (薬学)	1.02	0.96	-	平成18	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号	
法学部	4	280	3年次 5	1,040	-	1.02	0.97	-	昭和63	-	
法律学科	4	280	3年次 5	1,040	学士 (法学)	1.02	0.97	令和3	昭和63	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和3年度定員変更 250→280 (30)
経済学部	4	280	3年次 4	1,038	-	1.03	0.99	-	平成22	-	
経済学科	4	280	3年次 4	1,038	学士 (経済学)	1.03	0.99	令和3	平成22	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	令和3年度定員変更 250→280 (30)
看護学部	4	100	-	400	-	1.02	1.00	-	平成24	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.02	1.00	-	平成24	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号	
農学部	4	340	-	680	-	0.91	0.87	令和2	令和2	-	令和2年度学部設置
農業生産学科	4	80	-	160	学士 (農学)	0.88	0.78	令和2	令和2	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号	
応用生物科学科	4	80	-	160	学士 (農学)	0.86	0.77	令和2	令和2	同上	
食品栄養学科	4	80	-	160	学士 (農学)	0.85	0.81	令和2	令和2	同上	
食農ビジネス学科	4	100	-	200	学士 (農学)	1.02	1.08	令和2	令和2	同上	
大学全体	-	2,295	3年次 52	8,609	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	摂南大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
薬学研究科 博士課程	4	4	-	16	-	0.68	0.50	-	平成24	-	

医療薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.68	0.50	-	平成24	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号
理工学研究科 博士前期課程	2	34	-	68	-	1.11	1.55	-	平成元	-
社会開発工学専攻	2	12	-	24	修士 (工学)	1.24	1.66	-	平成元	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
生産開発工学専攻	2	12	-	24	修士 (工学)	0.91	1.33	-	平成26	同上
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.20	1.70	-	平成26	同上
理工学研究科 博士後期課程	3	4	-	12	-	0.66	0.75	-	平成20	-
創生工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学)	0.16	0.50	-	平成20	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
生命科学専攻	3	2	-	6	博士 (理学)	1.16	1.00	-	平成28	同上
経済経営学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	0.10	0.10	-	平成26	-
経済学専攻	2	5	-	10	修士 (経済学)	0.10	0.20	-	平成26	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
経営学専攻	2	5	-	10	修士 (経営学)	0.10	0.00	-	平成26	同上
法学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.30	0.00	-	平成9	-
法律学専攻	2	5	-	10	修士 (法学)	0.30	0.00	-	平成9	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
国際言語文化研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	0.00	-	平成11	-
国際言語文化専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	0.10	0.00	-	平成11	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
看護学研究科 修士課程	2	6	-	12	-	0.83	0.66	-	平成28	-
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	0.83	0.66	-	平成28	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号
大学院全体	-	68	-	148	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	2	2	0	8	0	4	2	2	0	8	0
(4)	(2)	(2)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	2	2	0	8	0	4	2	2	0	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
64 歳	1 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画																		
届 出 時 (平成31年)	該当なし																				
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部学部 医療福祉学科]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 その結果、2021年度の入学定員充足率は0.63倍と改善傾向にある。今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	履行済 該当なし
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																
令和2年度	100	202	184	49	0.49																
令和3年度	100	196	176	63	0.63																

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 救急救命学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、教育・広報活動WG、研修活動WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、シラバス改革WG）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和3年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。

c 委員会の審議事項等

1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック
2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供
3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年2回）
4. FD活動報告冊子の発行（隔年）
5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み
6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供

② 実施状況

a 実施内容

1. 受講生満足度調査
2. FD講演会
3. FD研修会
4. FD newsletterの発行
5. FD活動報告冊子の発行
6. 授業公開
7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備

b 実施方法
実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教員が参加できるように配慮している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 受講生満足度調査の実施

- ・前期 令和2年 6月～8月
- ・後期 令和2年12月～令和3年2月
- ・教員は、前期もしくは後期のどちらかで年間少なくとも1回は実施することとしている。

2. FD講演会の開催

- ・日時：令和2年9月14日（月）9：00～令和2年9月23日（水）17：00
- ・テーマ：だから私はこの道を選んだ！ 本学におけるオンデマンド授業の先駆的实践者たち
- ・実施方法：オンデマンド方式
- ・参加者数：76名

- ・日時：令和2年12月4日（金）18：10～19：30
- ・テーマ：だから私はこの道を選んだ！ 本学におけるオンデマンド授業の先駆的实践者たち
- ・参加者数：61名

3. FD研修会の開催

- ・日時：1) 令和2年5月21日（木）午前の部10：00～ 午後の部14：00～
2) 令和2年5月22日（金）午前の部10：00～ 午後の部14：00～
3) 令和2年5月29日（金）午前の部10：00～ 午後の部14：00～
- ・テーマ：Zoom利用初級研修会
- ・対象：全教員
- ・参加人数：1) 午前 18名、午後 17名
2) 午前 24名、午後 23名
3) 午前 17名、午後 20名

- ・日時：1) 令和2年6月25日（木）18：00～19：00
2) 令和2年6月26日（金）15：00～16：00
3) 令和2年6月25日（木）15：00～16：00
4) 令和2年6月26日（金）18：00～19：00
5) 令和2年7月1日（水）18：00～19：00
6) 令和2年7月2日（木）15：00～16：00
- ・テーマ：Zoom利用研修会（①～②初級編、③～⑥中級編）
- ・対象：全教員
- ・参加人数：1) 8名
2) 11名
3) 29名
4) 20名
5) 15名
6) 23名

- ・日時：令和2年7月15日（水）16：15～17：45
- ・テーマ：Zoom利用研修会（上級編）
- ・対象：全教員
- ・参加人数：71名

- ・日時：令和2年9月3日（火）10：00～12：00
- ・テーマ：到達目標の書き方研修会
- ・対象：全教員
- ・参加人数：31名

- ・日時：令和2年9月3日（火）13：00～15：00
- ・テーマ：ルーブリック活用研修
- ・対象：全教員
- ・参加人数：9名

- ・日時：令和2年9月15日（金）10：30～12：00
- ・テーマ：コースポートフォリオ作成研修会
- ・対象：FD委員
- ・参加人数：14名

- ・日時：令和3年3月5日（金）13：00～16：10
- ・テーマ：コースポートフォリオ発表会
- ・対象：FD委員 各ワーキング長
- ・参加人数：6名

- ・日時： 1) 令和3年3月4日（木）9：30～12：00
2) 令和3年3月4日（木）13：00～15：30
3) 令和3年3月5日（金）9：30～12：00
- ・テーマ：マイクロティーチング研修会
- ・対象：FD委員
- ・参加人数：1) 5名、2) 5名、3) 4名

- ・日時： 1) 令和3年3月8日（月）13：00～14：00
2) 令和3年3月8日（月）15：00～16：00
3) 令和3年3月16日（火）13：00～14：00
- ・テーマ：Teams利用研修会
- ・対象：全教員
- ・参加人数：1) 30名
2) 25名
3) 27名

4. FD newsletterの発行

- ・年2回発行（令和2年12月、令和3年3月に発行）
- ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和2年7月
授業公開数：147科目、聴講者数：187名
- ・後期 令和2年11月～12月
授業公開数：138科目、聴講者数：188名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期 各13～15回目の授業日）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計結
果に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「救急救命学科」は、少子高齢化の進展、疾病構造の変化等により、救急医療が多様化、高度化するとともに、救急車両の出場回数が、年々増加傾向にある中、病院前救護で適切な判断・処置ができる質の高い「救急救命士」の需要が高まっていることを背景に設置し、学部を目的を達成するため以下の取り組みを行っている。

1. 入学者確保

学生募集活動では、大学見学会の実施や業者主催の入試説明会への参加、高校等へ積極的広報を展開し、教育内容とアドミッションポリシーの浸透を行った。その結果、53名が入学した。定員を十分満たしており、本学科が進学先として一定の評価を得た結果といえる。

2. 初年次教育

大学における新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、一部オンデマンド（オンライン）授業を活用した。授業実施にあたっては、自律的な学修や、学生一人ひとりに応じたきめ細かな教育が提供できるよう、設問解答、添削指導、質疑応答等の指導を十分に行うことに留意した。

3. 新任教員オリエンテーション

令和3年4月に着任した教員に対し、本学の方針、ビジョン（中長期目標・計画等）、人材養成の理念、学生支援や事務手続等について研修を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、研修の一部をオンデマンドで行い、各自視聴できる体制を築き対面での時間を短縮して実施した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年4月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/jikoten.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理分野専門職大学院認証評価を受審中。
- ・令和4年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月2日

広学内117

(目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

イ 各学部設置各学科の教授、准教授、講師および助教の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科1名

ロ 教育・学生支援機構課長

ハ その他必要に応じて教育・学生支援機構長の推薦により学長が任命した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(委員の任期)

第3条 前条第1項ロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、2年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること

ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行

ハ FDプログラムの開発

ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析

ホ 授業改善のための方策の検討

ヘ その他FDに関する必要なこと

(委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の中から教育・学生支援機構長の意見を聴いて、学長が任命する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。

3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について速やかに教育・学生支援機構長を経て、学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 議事録の作成および保管を含め、委員会の庶務は、教育・学生支援機構で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2021年4月19日から施行し、2021年4月1日から適用する。